



水田 篤紀 (みずた あつき)

1997年生まれ 奈良県在住

2017年よりたんぽぽの家で活動をはじめ

ひとつ一つの作品に丁寧に向き合い、絵画制作や身体表現にて自身の表現を深めている。その真摯な姿勢はコラボレーション作品としてかたちになることも多く、2017年にはshing02（ヒップホップMC）と倉智敬子+高橋悟（美術家）とともにパフォーマンス作品を制作。2018年からは京都市立芸術大学の学生とともに共同制作を行う「OPEN KITCHEN」に参加するなど、様々な方法で表現の可能性を探究している。（撮影：草本利枝）

略歴

グループ展

- 2019年 「OPEN KIT-CHEN」
（京都／ギャラリー崇仁、奈良／たんぽぽの家アートセンターHANAギャラリー）
- 2021年 「OPEN KIT-CHEN」 （京都／京都市内の個人宅）

公演

- 2017年 「ダンスワークショップ」（奈良／富雄南中学校）
「状況のアーキテクチャー "Tracing Voices：ラップ×ケア×アート"」（京都／京都市立芸術大学）
※出演：Shing02（音楽家／ヒップホップMC）、倉智敬子+高橋悟（現代美術家）
- 2018年 「針の穴を通るラクダのカラダ」（奈良／奈良図書情報館）
- 2019年 「ノムラとジャレオとサクマの "問題行動ショー" ヨソモノになるための協奏曲」
（大阪／アクアホール）
「コモンズフェスタ2019 "ダンスWS"」（大阪／應典院）
「共創の舞踊劇 "だんだんたんぽに夜明かしカエル"」
（兵庫／シーベックホール、東京／北千住BUoY）※演出・振付：佐久間新

その他

- 2019年 東京都美術館で開催された「TURNフェス5」にて自身が行ったダンスパフォーマンスについてのトークを行う。
京都市立芸術大学とのプロジェクト「OPEN KIT-CHEN」にて学生やアーティストと1年間の共同制作を行う。会期中にはギャラリートークを開催。
- 2021年 京都市立芸術大学とのプロジェクト「OPEN KIT-CHEN」に2020年度も参加、学生やアーティストにくわえ京都市在住の一般市民とも共同し半年間の共同制作を行う